

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2023年(令和5年)5月25日号 No.1925

目次

■ ウズベキスタンの憲法改正	中馬 瑞貴 1
— 評価された経済改革と懸念される政権長期化 —	
■ 『ロシアNIS調査月報』2023年6月号のご案内	7
■ キーパーソン	8
トルクメンガス総裁が副首相に就任 / 8	
■ エトセトラ	9
JCM制度活用促進説明会のご案内 / 9	
カザフスタン物流視察ミッションのご案内 / 9	
■ トピックス	9
コマツ、カザフスタンに子会社設立 / 9	
G7広島サミット、ウクライナに関する首脳声明 / 9	
米英がロシアに追加制裁 / 10	
西安で中国・中央アジアサミット開催 / 10	
ユニクロがロシアからの撤退報道を否定 / 10	

ウズベキスタンの憲法改正

— 評価された経済改革と懸念される政権長期化 —

(一社)ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所
 研究員 中馬 瑞貴

はじめに

2023年4月30日、ウズベキスタンで憲法改正のための国民投票が実施され、投票率84.51%、賛成90.21%で改正案が承認された。5年から7年の大統領任期延長、死刑廃止、人権尊重を重視するさらなる規定などを加えた155条434項からなる新しい共和国憲法は翌5月1日に発効した。

ウズベキスタンでは2021年10月にミルジヨエフ大統領が2期目の再選を果たした際の就任演説で、憲法改正の必要性について言及され、当初は憲法制定30周年を迎える2022年12月までの実現を目指して準備が進められていた。しかし、国内で自治権を有するカラカルパクスタン共和国において憲法草案の中で同共和国の自治権に関する規定が削除されたことをめぐって大規模なデモが起き、緊急事態宣言を発する事態に発展した。こうした事態を受けて、政権内で慎重な姿勢が出たため、約半年遅れでの制定となった。

以下では、今般のウズベキスタンにおける憲法改正について、政治的・経済的に重要な点を中心に紹介する。